

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2014年 3月 1日 第 20 号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](http://www.kongosan-amidaji.jp) [検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所



横井小楠 像 (熊本市 沼山津)

語りの春

大谷 義文

故、小沢昭一氏の『昭和の肖像へ町』を手に取った。70年前後の裏路地の風俗、人の表情を収めた写真集。合間のエッセイが追想を誘う。私は幼少期、浅草・吉原界隈を見ていたから懐かしくもあり、また当時の大人の世界に想像を掻き立てられ思わず見入った。「町にはいろいろな人がいる。子供もアンちゃんもクリカラモンモンも年寄りもいる。街には背景ではなく主役として建物がある」と解説に書かれていた。商店街の賑わい。夜の仕事に向かう後ろ姿。露店の行商人。軒先がひしめき合う民家。大小様々な墓石が建ち並ぶ墓地。それらが、昭和の雑踏を語っている。私は、67年生まれ。中学生の頃だった。何処の町も同じ風景に揃えられ、私たちまで同じ人間に変えられ

ていくように映った。生き苦しくて向きを変えてみた。しかし、向いた方向が悪かった。すっかり忘れていた自伝を彷彿とさせる一冊でもあり、思わず合掌。
今、寺子屋で「親鸞聖人の物語」を安田登師が語ってくださる。そうか、これが宗祖の苦悩かと、甚だ勝手な了解をするほど想像が膨らむ。語りには言葉があり音がある。しかし、それしかないのだ。しかも場所を問わない。時代は変わる、風景も心も変わりゆくなか、語りはファンタジーを生み、そして現実を思考する幅と奥行きを与えてくれる。そこに、他人の暮らしも、大自然のすがたも見えてくる。それが、念仏の暮らしと先達が語り継がれた春彼岸。読経、法話、浪曲、語られる春に祈りを持ちたい。

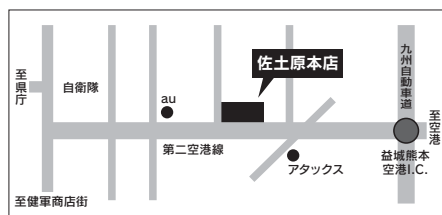


佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

営業時間
昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)
夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)
定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)
7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

面白きこともなき世を面白く

高杉晋作の句(舞臺期)

面白きとは愉快なことではない。面白きとは、私がこの世に照らされる。それは、世の為に役にたつという志の言葉だ。他人に気づかれないことも、賞賛されなくてもいい、そういう生き方を現す。

御正忌報恩講

1月13日(月)、御正忌報恩講が勤まった。正午から皆さまにお齋を召し上がっていただき、1時から読経。その後、最勝寺・中井賢隆師に「念仏の息」と題した法話をいただき、現代における「死」の意味を学んだ。鄭光均師には「オカリナの調べー歴史認識について」と題し、国同士の歴史認識の違いを話されながら、郷愁を誘うオカリナの演奏をしていただいた。



中井賢隆師

「息」さえも、本来は私だけのものではなかったのだ。そのことを故人との別れを通して気づいていくのが法事のひとつの意義であると話された。受け継がれてきた「息」をいただいている私の事実を学ばせていただいた。

鄭光均師は、お馴染みの白いチマチヨゴリを身にまとい登場。やさしい語り口に、オカリナのアルファード波が本堂を包む。「うみ」「ふるさと」「コンドルは飛んでいく」等々。目を閉じると、そこに鮮やかな景色があらわれる。幼い頃、両親に連れて行かれた海。遊び帰りに見た、夕陽に染まった山々。夢の中に見る幻想

また、切手の絵柄を用いて歴史認識について話された。戦後、大変な苦労の中、生きてこられた方々がたくさんいらっしやるのだ。その事実を知ろうともしない、自分を省みた報恩講であった。(博真)



鄭光均師



阿弥陀寺台所合唱団結成

寺子屋開催の度に、台所で大人数の料理をしてくださる、若く美しいお母さま方を中心に、「台所合唱団」が結成された。安田登先生の指導のもと不定期で練習が行われている。曲目は「タキシード・ジャンクション」。年齢性別、経験不問。歌が好きでない人、大歓迎。団長・安田登先生。サククス・志方仁星(高校生)、トランペット・松村百花(小学5年)、ベース・大谷義文(未経験)。楽しく歌う、合唱団員募集中。どうぞ、ご参加ください。



『御修行奮闘記』

釋博真(楊原真人)

京都本山で、住職研修を受けた。夏安居(研修)を共にした顔ぶれが多く、気負いなく受講できた。夕食後、「理想の住職像」という課題で語りあった。「寺は過疎地、理想どこ

オフ・ビート

総代のつぶやき8回
皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。社会保険労務士をさせていただきます。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思えます。どうぞお付き合います。



歳の瀬恒例！もちつき会！

昨年末の30日、境内で恒例のもちつき会をしました。1斗5升のもち米を、大工さんから頂いた木っ端を焚き、セイロで蒸しました。大きな石臼に重たい杵を振り上げ、参加した方々とつき上げました。本堂に供える大きな鏡もちが丸まると一気にお正月気分になりました。お昼は、あんこきな粉、納豆に大根おろしで頂きました。小学生が奮起し、大先輩が奮闘する賑やかなもちつき会でした。



小学生、大奮闘！

大人、大奮闘！

日本列島春爛漫、春はあけぼのやうやう白くなり行く山際なんて、『枕草子』を読みたくなる今日この頃です。さて一大ニュース。お寺でコーラスグループが結成されました。監督は、能楽師でピアニストでオルファードetc、寺子屋でお馴染みの安田登先生です。コーラスは、いつも台所で美味しい料理を作ってくださいるママさん方。名づけて「台所合唱団」。現在の練習曲は、グレンミラー楽団で有名な「タキシード・ジャンクション」。この題名の由来を紹介いたします。アメリカ南部、アラバマ州の田舎街、バーミンガムにある

森社会保険労務士事務所

代表 森 雄二(阿弥陀寺 総代)

〒862-0941 熊本市中央区出水1丁目1-25 サントビル3A-5
TEL:096-289-5570 携帯:090-1974-5405
E-mail:srmori1@r8.dion.ne.jp

- 労働相談
- 年金講演
- ライフワークセミナー

中島智喜税理士事務所

〒860-0073 熊本県熊本市西区島崎2-29-17
TEL 096-354-4792 FAX 096-354-4791

確定申告
消費税申告

「めんどくさいなあどうしよう」と思われている皆様、まだ間に合います。 (申告内容によって10,500円~126,000円)

相続税

H27年より基礎控除が大きく変わります。「争続」にならない為にも、まずは御相談下さい。

相談料 5,250円/時

複雑な試算、申告が必要な場合は別途料金が発生致します。

春・彼岸会法要 「語りの春」

日時・3月21日(金)・春分の日・彼岸中日

午後1時00分 読経

1時30分 法話

2時30分 浪曲 (午後4時30分終了)

(午後5時から、本堂にて懇親会)

法話・大谷義博 (東京・西徳寺顧問・阿弥陀寺住職)

講題・「善悪の宿業を知らざるなり」

浪曲・玉川奈々福師 (東京) (浪曲師)

・沢村豊子 師 (東京) (曲師・三味線)

演題・第一席「仙台の鬼夫婦」第二席「当日のお楽しみ」

※参加費・お賽銭 懇親会参加費1000円。(二人)

安田登先生の寺子屋

日時・4月12日(土) 午後3時から5時 (本堂にて懇親会あり)

講師・安田登 師 (東京 能楽師・こども能チャレンジ講師)

・山本紗由師 (東京 バイオリンリスト)

幻想耽美演奏劇『箱庭コラール』(主宰)

講題・「人と人をつなぐ『あわいの力』」

・「親鸞聖人の物語」と「春の歌」

※参加費・お賽銭 懇親会参加費1000円。(二人)

本の紹介



『本当はこんなに面白い「おおくのほそ道」』

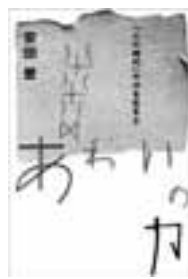
著 安田登

出版社・実業之日本社

定価(762円+税)

中学・高校で、だれもが触れる、松尾芭蕉の不朽の名作『おおくのほそ道』でもこの物語、実は当時の門人たちがゲーム感覚で楽しみながら読んでいた、今というロールプレイングゲームのようなものだった!当時の流行芸能であり、知識人の

常識でもあった「能」をキーワードに読み解いてみると、その実態が見えてくる。



『あわいの力』

著 安田登

出版社・ミシマ社

定価(1700円+税)

あつちとこつちをつなぐ不思議な力。異界と現実の間(あわい)の存在(能におけるワキ方)であり、古代文字の研究も重ねる著者が、まったく新しい時代の姿を求め「あわい」の世界に飛び込んだ。

猫伏石の声

○こども能チャレンジ

8月17日(日) 午後から19日(火) 正午まで2泊3日。場所・阿弥陀寺本堂。対象、小学生・中学生、定員15名です。詳細は、次号に記載します。

○結婚のご報告

阿弥陀寺で法務をしていらっしゃる栃原真人が、5月に結婚することになりました。お相手は、尚絅高校で音楽を指導している松本由美さんです。これからも皆さまの御指導よろしくお願い申し上げます。

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 他のプランもご用意します。

30万円より

以下の内容が含まれます。

- 御棺一式
- 納骨一式
- 霊柩搬送
- ドライアイス
- 遺影写真
- 生花祭壇

含まれないもの・・・ 返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは! (24時間) 益城町宮園547-3 096-286-4640 携帯 080-5214-4640 メール info@kiyamasougi.com

